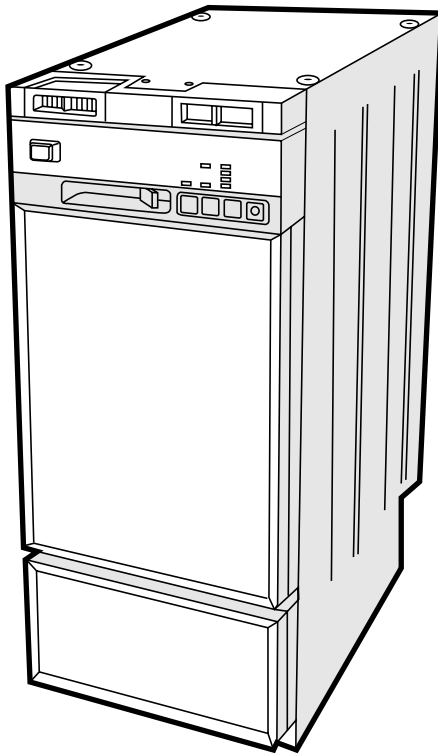


食器洗い乾燥機 30cm幅

品番 NP-U30A1P1

据付工事説明書

もくじ



安全上のご注意 必ずお守りください	2
各部のなまえと寸法	4
設置場所について	5
電気工事について	6
給・排水工事	8
設置工事手順	10
試運転	16
試運転後の作業	18
工事後の点検（チェックリスト）…裏表紙 仕様	裏表紙
お客様への取り扱い説明	裏表紙

工事をされる方へのお願い

- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付工事説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 工事終了後 **工事後の点検** のチェックリストに基づいて必ず再確認を行ってください。
- 電気配線工事は電気工事登録事業者に依頼してください。
- 給水装置工事(配管工事)は、各市町村にて施工承認を受けた後、指定工事業者が施工してください。
- この製品は、(財)電気安全環境研究所(JET)より『給水装置の構造及び材質の基準(厚生省令)』に適合するとの証明を受けています。このため、給水装置への接合に際し、逆止弁等の設置は必要ありません。
なお、JETは、厚生省の「給水装置に係る第三者認証機関の業務等の指針」に示された要件を備えた第三者認証機関のひとつであり、他に(社)日本水道協会等があります。
- この説明書は工事終了後、お客様へお渡しください。
- 据え付け工事に関して不明な点がございましたら事業部へご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

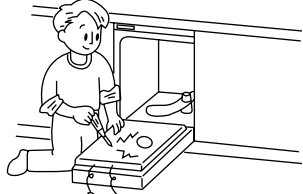
絶対に分解したり修理・改造しないでください。



分解禁止

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

●修理は販売店へご相談ください。

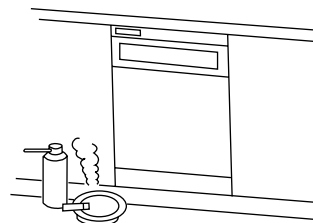


火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近づけないでください。



火気禁止

火災や変形の恐れがあります。

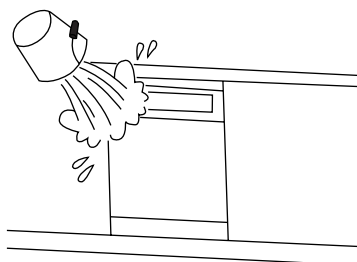


水をかけたりしないでください。



水ぬれ禁止

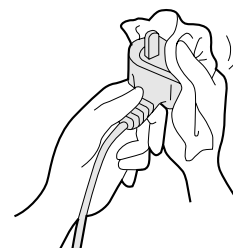
ショート・感電の恐れがあります。



電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。



火災の原因になります。



警告

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。)

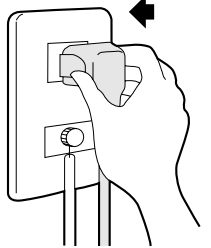


禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。



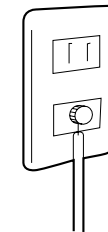
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

アースを確実に取り付けてください。



アース線接続



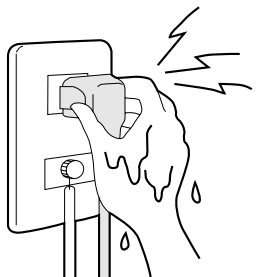
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

●アース工事は必ず販売店に依頼してください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。



ぬれ手禁止



感電の原因になります。

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使ってください。



他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

注意

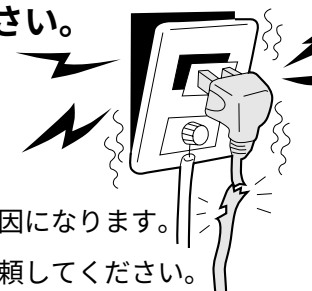
コンセントの差込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。



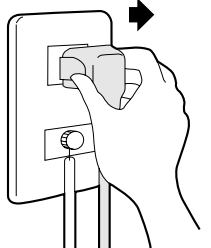
禁止

感電・ショート・発火の原因になります。

●販売店に点検・修理を依頼してください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。



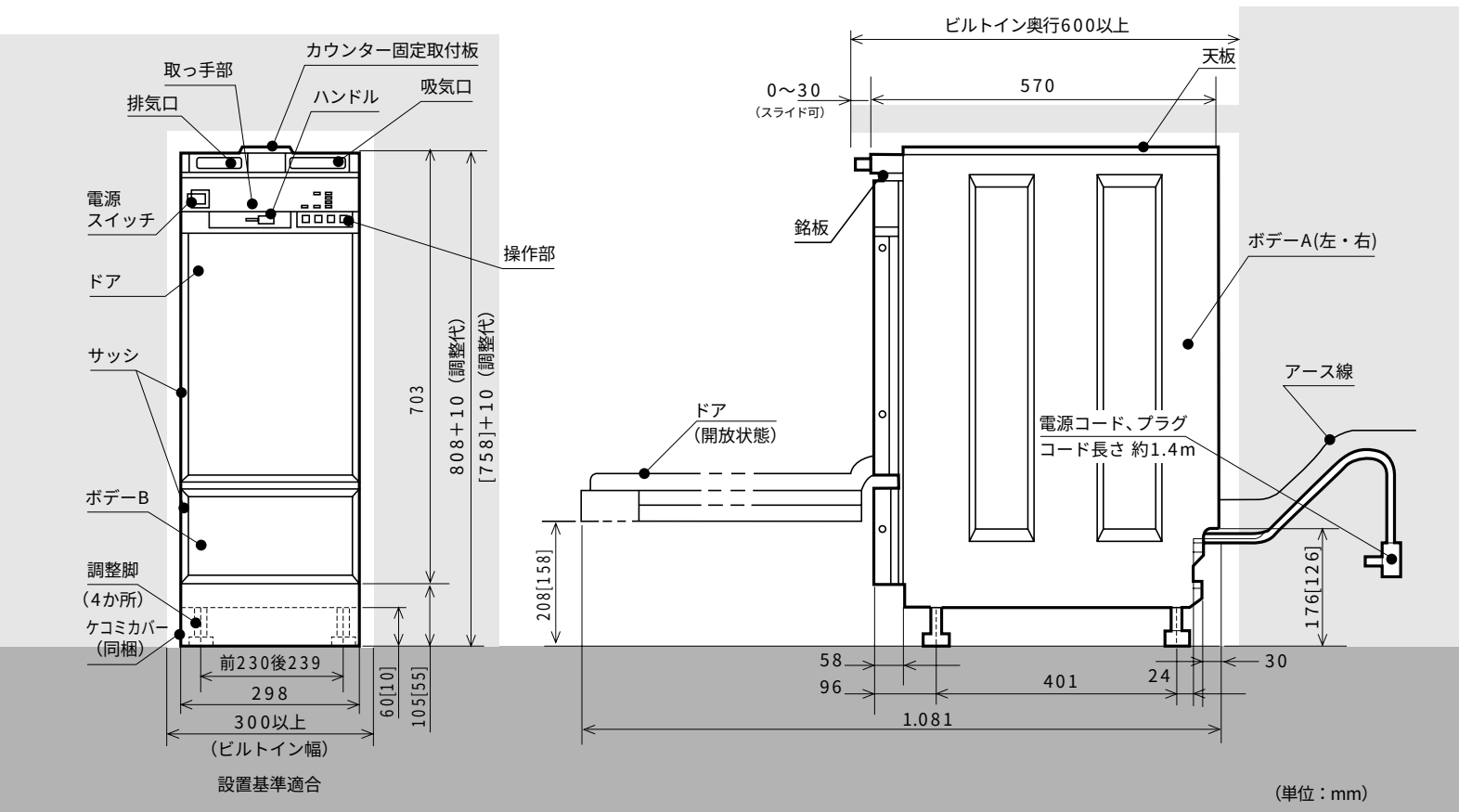
感電やショートして発火することがあります。

各部のなまえと寸法

● 本体およびかごのテープやダンボールなどは全部取り外してください。

寸法はキッチン高さ850mmの場合

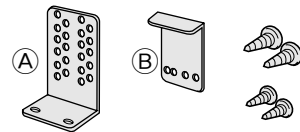
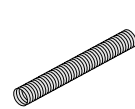
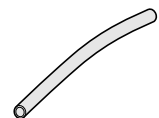
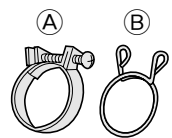
[] はキッチン高さ800mmの場合



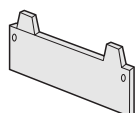
付属品の確認

据え付け工事に必要な付属品 工事用

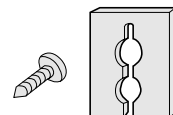
- ホースバンド (各1個)
- 排水ホース
- ホーススプリング
- 転倒防止金具 (各1個)
- タッピンネジ大 (2本)
- タッピンネジ小 (2本)



- ケコミカバー



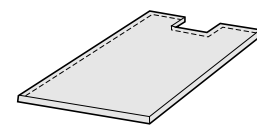
- ホースホルダー
- タッピンネジ



- 脚調整ピン



- 型紙 (本体天面のダンボール)



転倒防止金具の
位置決めに使用

ご使用時に 必要な付属品

お客様用

- 専用洗剤 (100g)
計量スプーンつき

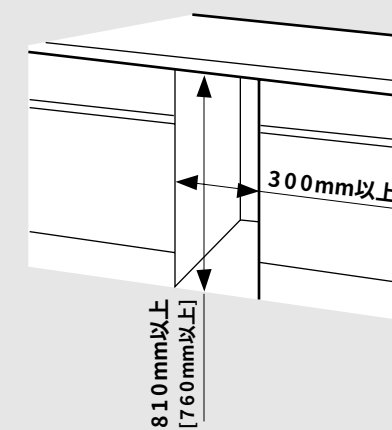


設置場所について

寸法はキッチン高さ850mmの場合

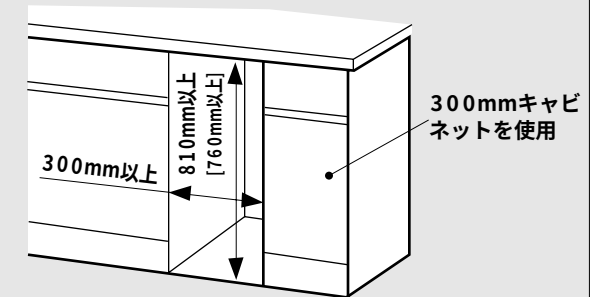
[] はキッチン高さ800mmの場合

中間にビルトインする場合



片側がフリーの場合

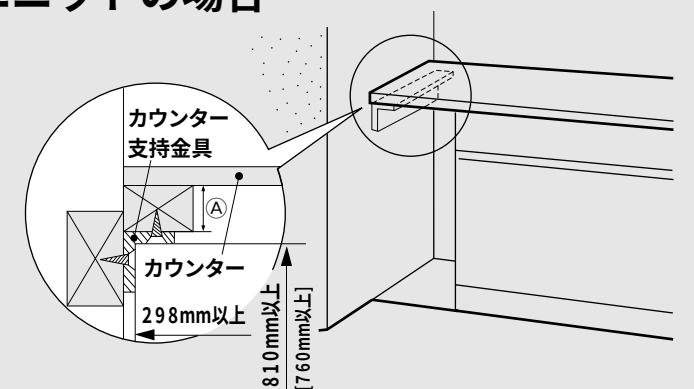
- 片側がフリーの場合、幅300mmキャビネット等を使用して、カウンターを支える処置をします。



片側が壁面または、トールユニットの場合

- カウンター支持金具は別売補強部材 (品番N-L3) 又は市販のL金具を使用します。

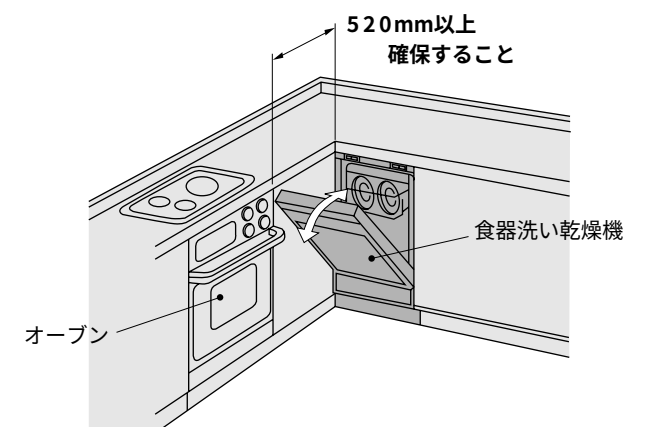
※ 締結ビスの長さは、右図の①寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。
電気設備技術基準182条により義務づけられています。



- ビルトイン型加熱機器等と並べて設置しますと、カウンター上に荷重をかけた時、たわむことがありますので、補強処置を施してください。
(別売補強部材 (品番N-L3) 又は市販のL金具を使用します。)

お願い

- L型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオープン等の取っ手部に当たり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。
- ※ 本機の金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。
電気設備技術基準182条により義務づけられています。



電気工事について

- 工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。
- 電気工事・アース工事は、電気工事士の有資格者が行ってください。
- 電源回路は100V、15A以上の専用回路が必要です。

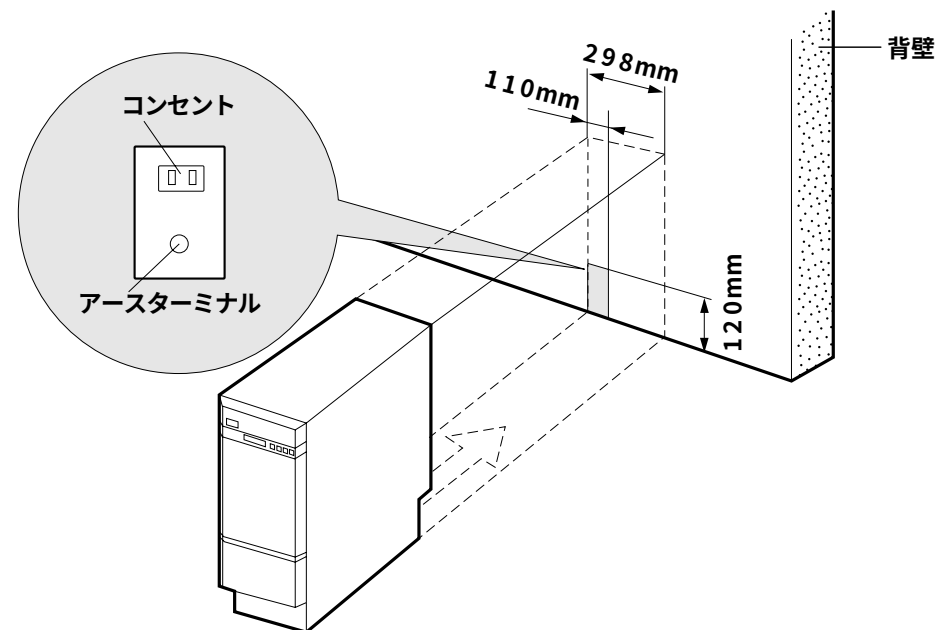
警告

定格15A・交流100Vのコンセントを
単独で使ってください。



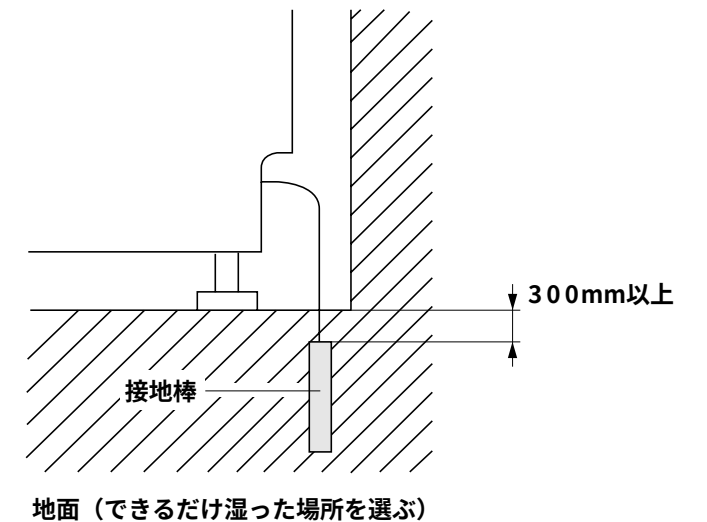
他の機器と併用すると、発熱による
火災の原因になります。

- 本体を設置する背壁の、給・排水工事部分を避けた図の位置に埋込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線します。
- コンセントは定格表示125V、15Aのアースターミナル付埋込みコンセントを使用してください。（コンセントは壁面に必ず固定します。）
- アース工事を必ず行ってください。（アースは法令上必要です。）



接地棒でアースする場合

- 接地棒を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。（電気工事士の有資格者がD種〔第3種〕接地工事をするよう法令で定められています。）
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令等で禁止されています。）
- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。



漏電しゃ断器の設置について

万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しゃ断器の設置が必要です。

推奨漏電しゃ断器——住宅分電盤用小形漏電ブレーカー

品番（松下電工）BJS 203

定格電流20A、感度電流30mA

（AC100-200V両用）

既設分電盤の分岐安全ブレーカーHB型と同一サイズですから、そのまま取り替えでき、専用回路の漏電保護ができます。

※主幹に漏電しゃ断器が設けられている場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。

給・排水工事

■本機が使用できる水道水圧は0.03～1MPa {0.3～10kgf/cm²} の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので0.6MPa {6kgf/cm²} を超える場合は減圧弁を取り付けてください。

■本機は（財）電気安全環境研究所（JET）より「給水装置の構造及び材質の基準（厚生省令）」に適合するとの証明を受けています。このため、給水装置への接合に際し逆止弁等の設置は必要ありません。
各市町村の条例等により逆止弁を取り付ける場合で、本機の配管の近傍にシングルレバー水栓がある場合は、以下の対応を実施してください。

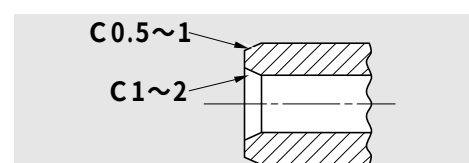
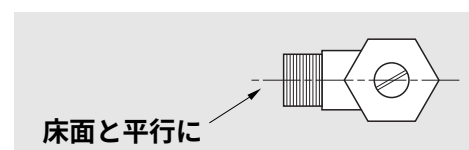
- 本機もしくはシングルレバー水栓の配管に減圧弁か、ウォーターハンマー防止器を取り付ける。
（水栓の急閉時のウォーターハンマー現象により逆止弁の下流側の本機や本機の配管に異常な高水圧が）
かかり、本機の故障や水もれの原因となるためです。

■本機は配管直結タイプですので設計及び施工工事の段階で給・排水の位置決りを正確にしてください。

- 給湯（給水）管は硬質塩化ビニルライニング鋼管（相当品）を使用して、断熱材を巻いてください。
（給湯の場合は必ず耐熱配管にします。）
- 排水横枝管に至るまでの接続部分は耐熱塩化ビニル管（HT相当品）を使用してください。
※なお、排水横枝管との接続はHT20で接続してください。
- 配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
- 給・排水配管の端面はバリのないよう処理し、かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除いてください。

- ドライバー用アングル型止水栓を必ず取り付けてください。
（止水栓は閉じた状態で、出口は床面と平行に）

- 排水管HT20の端面内周に、面取り（C1～2）を施してください。
外径外面側は面取り（C0.5～1）をつけるとホースの挿入が容易になります。



給湯機について

- 給湯は中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯機、10号以上の先止め式給湯機等で70℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。

※電気温水器には別売のミキシングバルブ[AD-M2140、AD-M2140N(寒冷地用)](松下部材センター扱い)の接続をおすすめします。

- 小型深夜電力利用温水器には接続しないでください。
本機へ給水されない恐れがあります。

注意

高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付けてください。



水もれの原因になります。

注意

元止め式湯沸器には接続しないでください。



禁止

湯沸器からの水もれの恐れがあります。

配管例

- 下記配管例以外の施工をする場合は事業部にご相談ください。
- 寸法はキッチン高さ850mmの場合 []はキッチン高さ800mmの場合。
- 排水用配管HT20相当品の長さが合計800mmを越える場合は、機器のトラップの封水を保護するために各個通気管を設けてください。

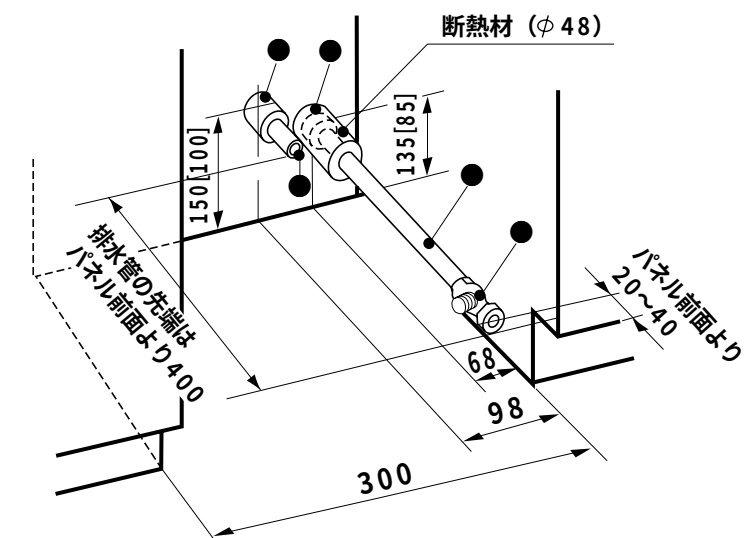
壁出しの場合

給湯（給水）

- ドライバー用アングル型止水栓（固定ゴマタイプ）
- 硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品又はフレキシブルホース
- Rc $\frac{1}{2}$ ソケット（断熱材巻付けφ42以内）

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- HT20相当品
- ソケット



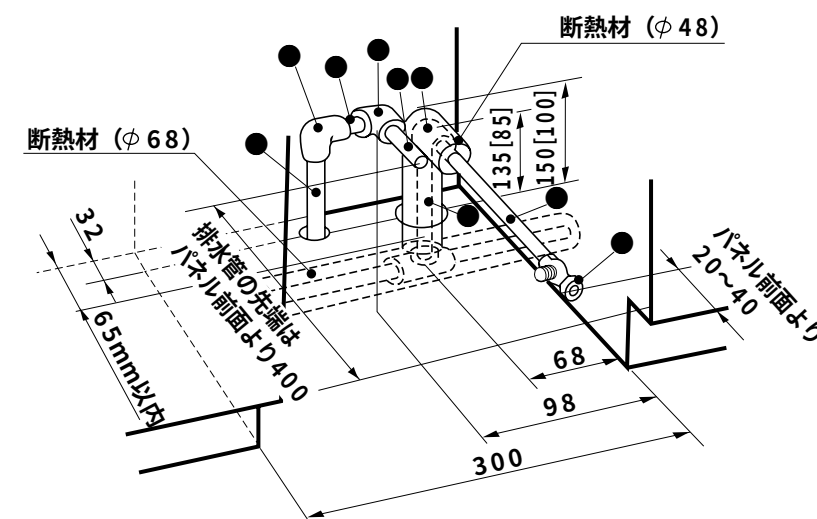
床立上げの場合

給湯（給水）

- ドライバー用アングル型止水栓（固定ゴマタイプ）
- 硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品又はフレキシブルホース
- Rc $\frac{1}{2}$ エルボ
- 硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品（断熱材巻付けφ42以内）

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- HT20相当品
- エルボ



床ころがしの場合

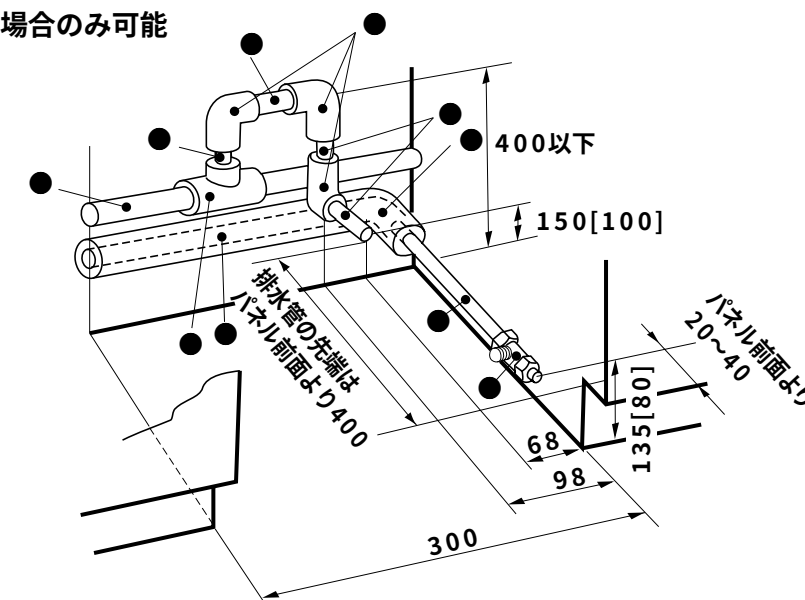
キッチン奥行L=750mm又は壁面と食器洗い乾燥機背面との距離に余裕がある場合のみ可能

給湯（給水）

- ドライバー用アングル型止水栓（固定ゴマタイプ）
- 硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品又はフレキシブルホース
- Rc $\frac{1}{2}$ エルボ
- 硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- HT20相当品
- HTエルボ
- チーズ（40×20）
- VP40



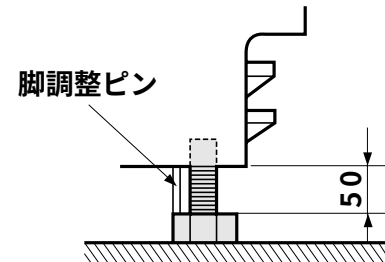
設置工事手順

1 本体の高さ調整

- 高さの微調整は調整脚を回転させながら行います。

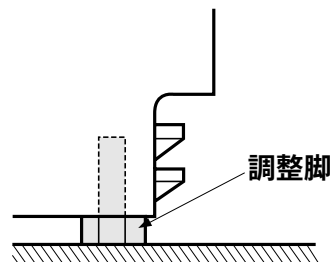
キッチン高さが850mmの場合

同梱の脚調整ピンを使って調整脚の高さを設定してください。
本体高さは808mmになります。

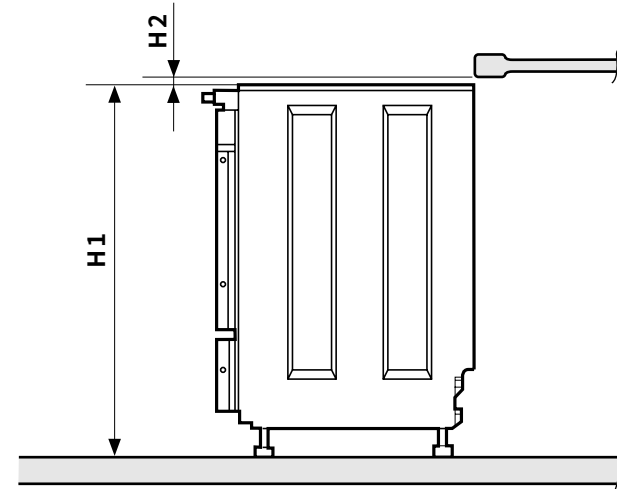
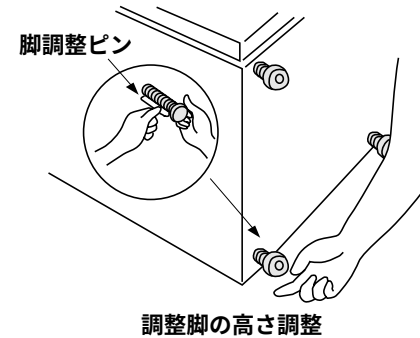


キッチン高さが800mmの場合

本体下部の調整脚（4本）をいっばいに締め込んでください。
本体高さは758mmになります。



※本体の一部と金属製のカウンターを接触させないでください。
電気設備技術基準182条により義務づけられています。



H2のスキマが2mmになるように調整脚の高さを調整してください。
本体高さH1は758mm～818mmまで調整できます。

2 転倒防止金具の取り付け

⚠ 注意

必ず転倒防止金具を取り付けてください。



開いたドアを押さえたときに製品が転倒する恐れがあります。

1 転倒防止金具①、②（同梱）を調整した本体高さに合わせて2本のタッピンネジ小（同梱）で締める。

締付穴位置	本体高さ (mm)	
	キッチン高さ800～850	
①	808	758
②	813	763
③	818	768
④	—	773
⑤	—	778
⑥	—	783
⑦	—	788
⑧	—	793
⑨	—	798
⑩	—	803

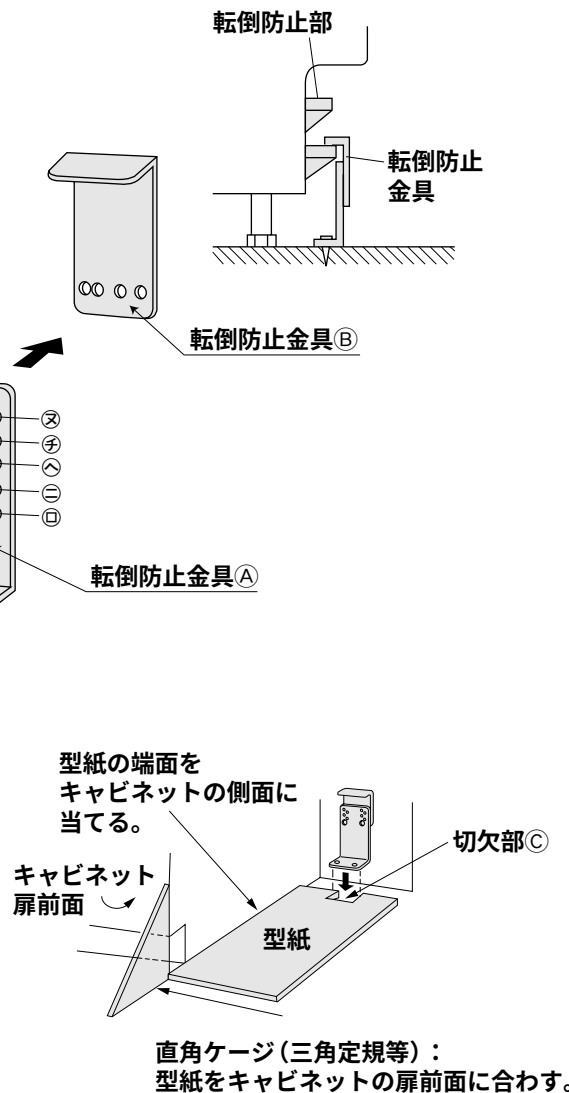
※①穴がキッチン高さ800または850mmの基準穴です。

2 型紙（本体天面のダンボール）を床面に敷き、右図のように隣接するキャビネットの扉前面に合わせます。

※直角ゲージ（金尺、三角定規等）で正確に型紙を当てて位置決めしないと転倒防止の機能が果たされません。

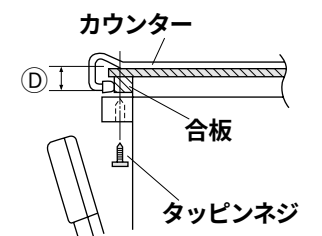
3 切欠き部に付属の転倒防止金具を置いて、同梱のタッピンネジ大（2本）で床面に取り付けます。

4 型紙を外します。



※コンクリート床面など転倒防止金具の取り付けが困難な場合は、本体のドアを開いてカウンター合板部分へ直にタッピンネジ2本で固定することもできます。（但し、人工大理石カウンター等はできません）

※タッピンネジの長さは、右図の①寸法より5mm以上短くしてカウンターの金属部に接触させないでください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。

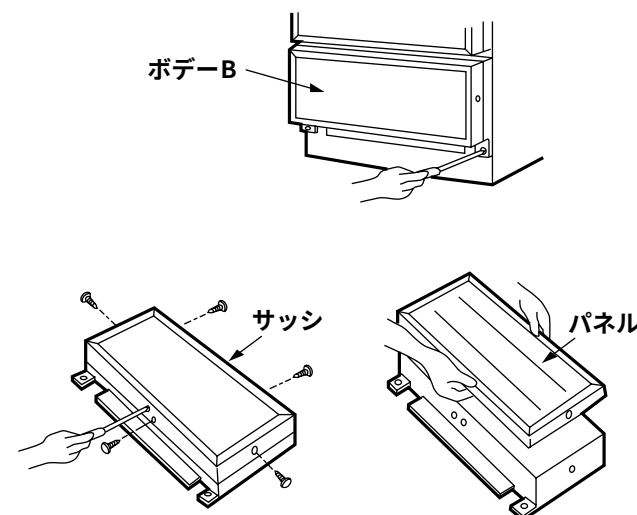


3 パネル(化粧板)の取り付け

パネルは別売品です

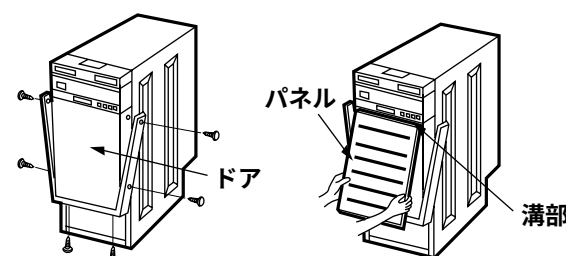
ボデー B

- 1 左右2カ所のネジを外し、少し上に持ち上げるようにして取り外します。
(このボデーBは「試運転」終了まで取り外した状態にしておきます。)
- 2 6カ所のネジを外し、ボデーBについているサッシを取り外します。
- 3 別売パネルをはめてからサッシをはめ込み6カ所のネジを締めつけます。

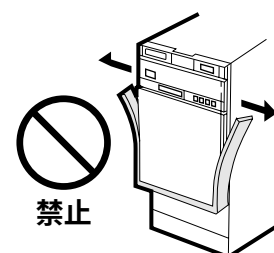


ドア

- 1 4カ所の左右のネジを外し、下辺2カ所のネジをゆるめて、サッシを少し手前に引き、外方向へ少し広がる状態にします。
- 2 別売パネルをドア上部の溝部に挿入し、下辺のサッシとドアのスキマにはさみ込みます。
- 3 左右のサッシとドアの間にパネルをはさみ、左右および下辺6カ所のネジを締めつけます。

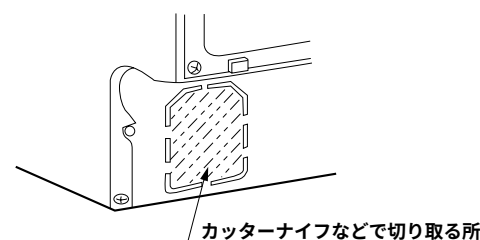


- サッシ上部を無理に広げないでください。サッシが破損する恐れがあります。



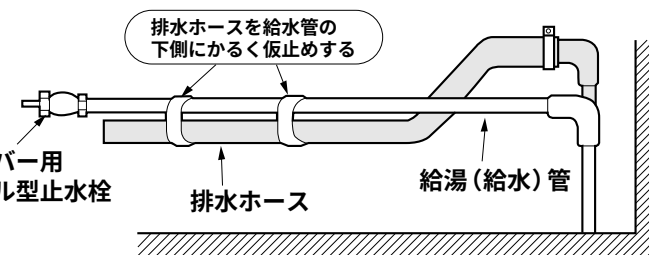
4 本体後面の開口

給・排水管を通すため、本体後面下部の斜線部分をカッターナイフ等で切り取ります。
なお開口部のバリ・エッジを処理してください。



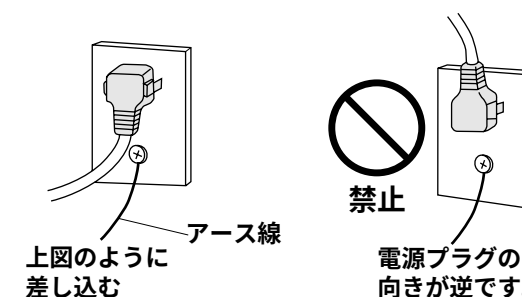
5 排水管と排水ホースの接続

- 1 排水ホース(同梱)を排水管HT20に十分に挿入し、ホースバンド④(同梱)で締めつけます。
- 2 給湯(給水)管へ排水ホースをビニールテープ等でとめます。

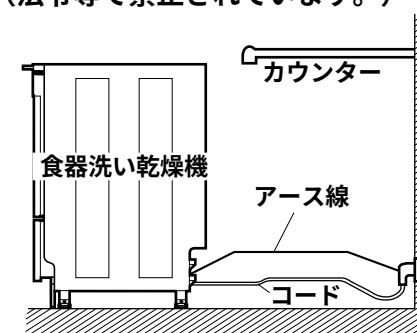


6 電源コード・アース線の接続

- 1 電圧が100Vであることを確認してから埋込みコンセントに電源プラグを差し込みます。



- 2 アース線をアースターミナルに接続します。
※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。
(法令等で禁止されています。)



警告

電源プラグはコードが下方方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込んでください。



上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する恐れがあります。

警告

アースを確実に取り付けてください。



故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

アース線接続

- アース工事は必ず販売店に依頼してください。

警告

電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしないでください。



感電・漏電や火災の原因となります。

禁止

コンセントを床面にころがして、電源プラグを差し込み使用しないでください。



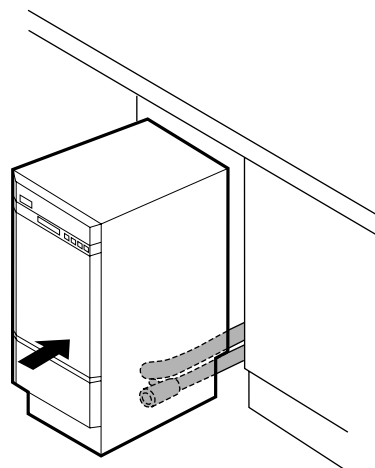
感電・漏電や火災の原因となります。

禁止

7 本体のビルトイン

隣接する機器等に注意し、給湯（給水）管・排水ホースが、台枠のダクト部を通るように、本体の下方をゆっくりと押しながらビルトインします。

※本体の金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。



警告

ビルトインのとき電源コード、アース線、排水ホース、給湯（給水）管に傷をつけないでください。



禁止

感電・漏電・火災や水もれの原因となります。

電源コードを転倒防止金具や調整脚との間に挟み込まないでください。



禁止

感電・漏電や火災の原因となります。

8 排水ホースの接続

1 排水ホース（同梱）をトラップ接続口に合わせて切断します。トラップから排水管に向けて徐々に上がるように勾配をつけて、たるみや折れのないように排水ホースの長さを合わせてください。

2 排水ホースにホーススプリング（同梱）を挿入し、ホースバンド®（同梱）をはめます。

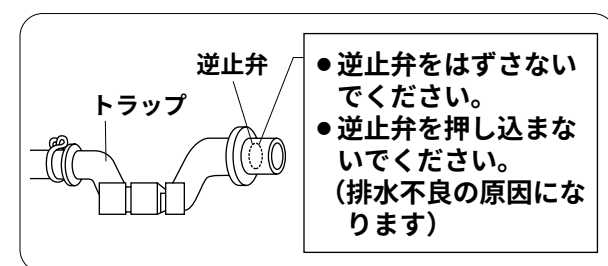
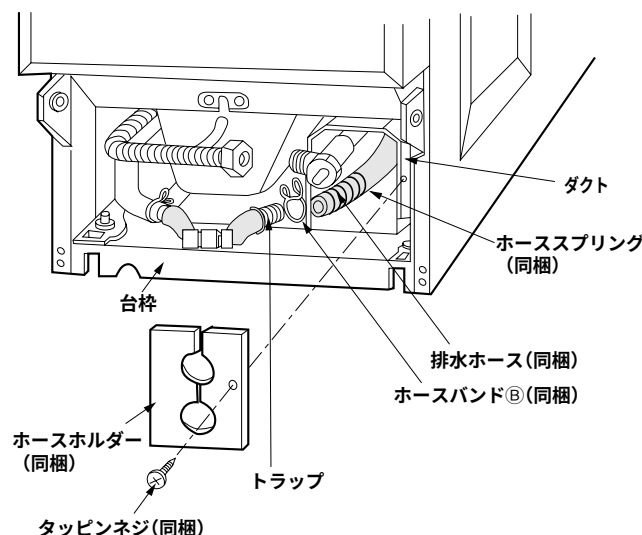
3 排水ホースをトラップのストッパーに当たるまで挿入し、ホースバンド®（同梱）で固定します。
※排水ホースをねじらないように

4 ホーススプリングを排水ホースの曲がり部分全体にセットします。

お願い ホース折れ防止のため、ホーススプリングは必ずセットしてください。

5 ホースホルダー（同梱）を給・排水ホースにはめ込み、ダクト前面開口部にタッピンネジで取りつけます。

お願い トラップを台枠から外さないでください。



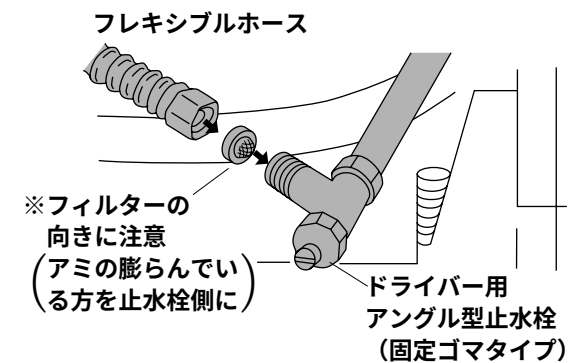
- 逆止弁をはずさないでください。
- 逆止弁を押し込まないでください。（排水不良の原因になります）

9 給湯（給水）管との接続

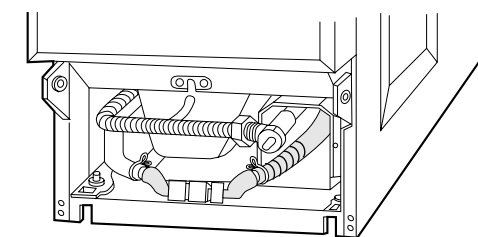
ドライバー用アングル型止水栓にフィルターをはめてフレキシブルホース（本体）を確実に接続します。（フィルターはフレキシブルホースにテープ止めされています。）

※ナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。

適正締め付けトルクは5～10N・m {50～100kgf・cm} です。



給・排水ホース接続完成図



注意

フレキシブルホースは切断しないでください。



禁止

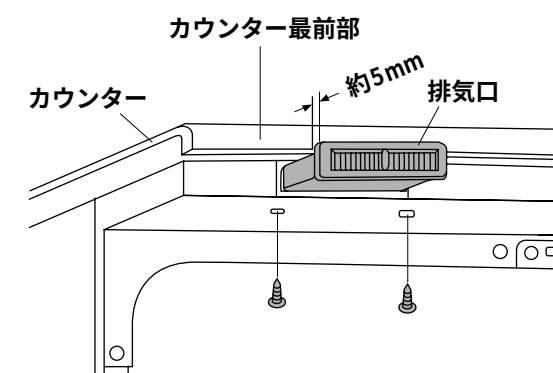
水もれの原因となります。

10 排気口の調整

ドアを開いて排気口下部の締め付けネジ（2本）をはずし、排気口の前面がカウンターの最前部より5mm程度出るようにして締め直します。

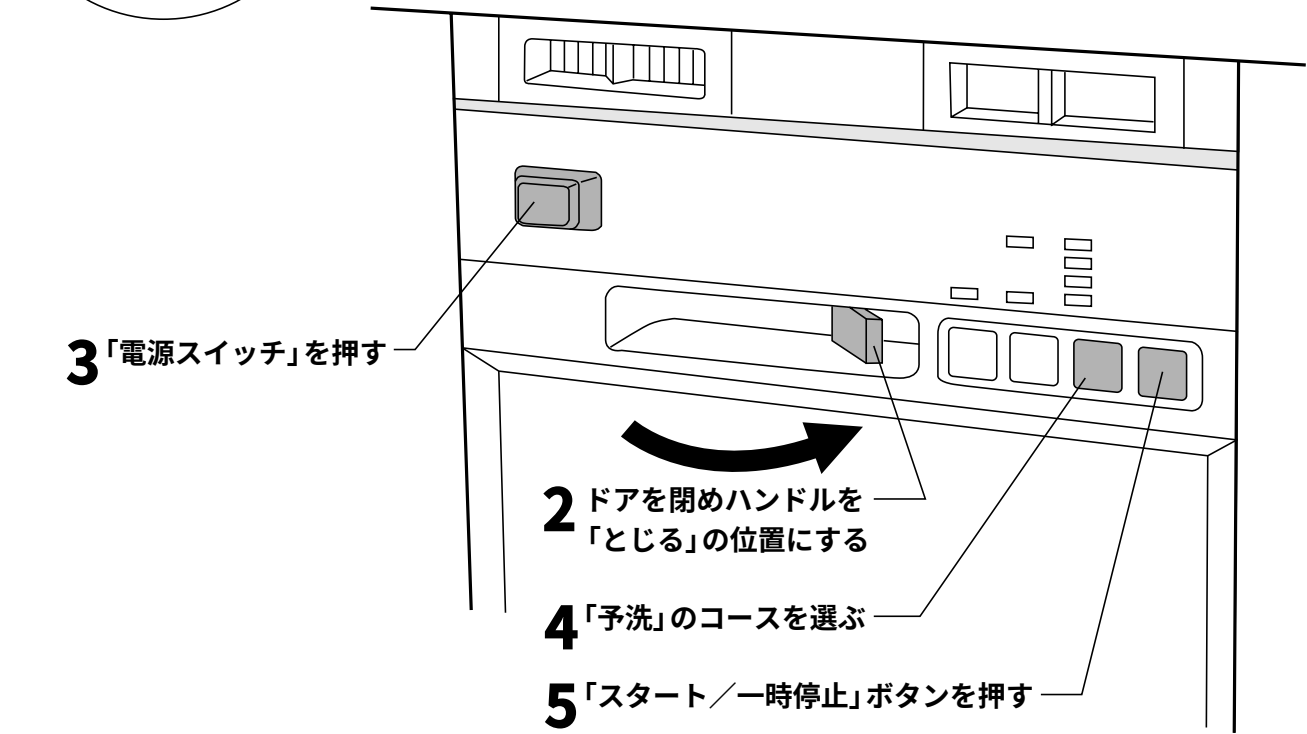
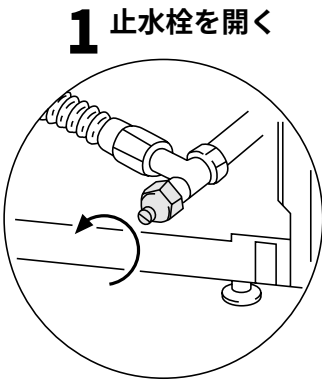
- 排気口の調整は必ず行ってください。カウンター裏面芯材の腐食等の恐れがあります。

※排気口は5mmピッチで最大30mmまで出すことができます。



試運転

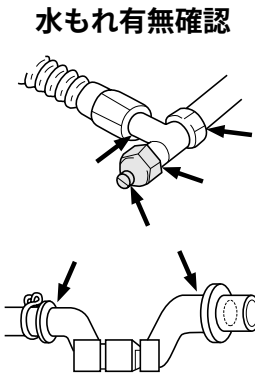
- あらかじめ電源の通電と止水栓の開栓を確認してください。
- 次の順序で試運転を行ってください。約8分で終了します。



確認項目

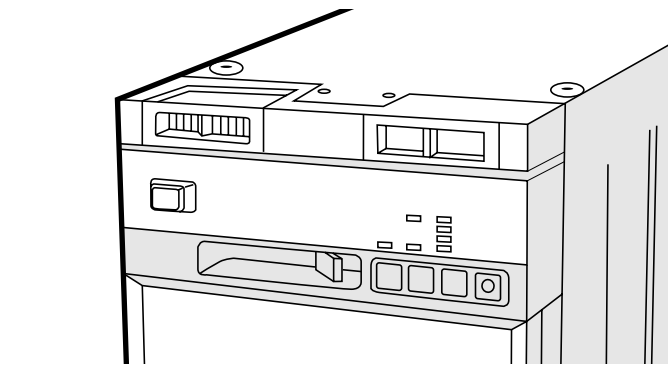
- 噴射音：バシャバシャ音がするか確認する。
(一定量の水が入り、シャワーを噴射しながら庫内のノズルが回転する為)
- 運転中、給・排水の接続部や止水栓、その他からの水もれがないことを十分確認してください。
- 運転が終了しますとブザーが鳴り「電源スイッチ」が「切」になります。
- ドアを開け、庫内の水が排水されていることを確認してください。

※試運転後は、止水栓を開いたままにしておいてください。



異常報知について

- 試運転で以下のように表示が点滅してブザーが鳴る場合は以下の内容を確認してください。



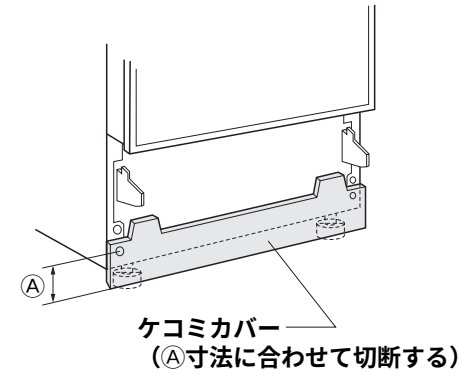
□ 消灯 ▬ 点滅

異常表示	原因	処置
□乾燥のみ ▬ 念入り □標準 ▬ 標準 □80℃ ▬ さっと □ドライキープ □ 予洗い	水もれ不良 本体は底板に水もれ検知装置を備えており、これが動作したため。	●電源（ブレーカー）を切る。 ●ゴムキャップを外して、底板にたまった水を抜く。（約200mL） （給・排水接続部からの水もれの有無を確認） ●水抜き後、ゴムキャップを差し込む。 （忘れますと検知装置が動作できません） ●電源（ブレーカー）を入れる。 水抜き用パイプ 水受け ゴムキャップ
□乾燥のみ ▬ 念入り □標準 ▬ 標準 □80℃ ▬ さっと □ドライキープ □ 予洗い	排水不良 排水ホースの折れや異物のつまりによって、洗浄槽内の水が排水できないため。	●電源スイッチを「切」にする。 ●排水ホースに折れぐせがついていないか確認。 （折れぐせがついているときは直す）
□乾燥のみ ▬ 念入り □標準 ▬ 標準 □80℃ ▬ さっと □ドライキープ □ 予洗い	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため。	●電源スイッチを「切」にする。 ●断水の場合は断水の回復を待って運転する。 ●水道栓（元栓および本体内の止水栓）は必ず開栓する。

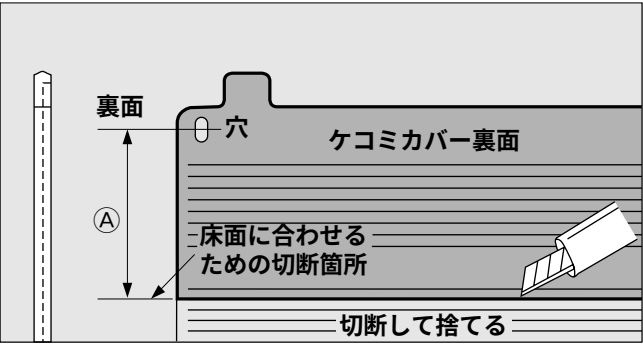
試運転後の作業

1 ケコミカバーの取り付け

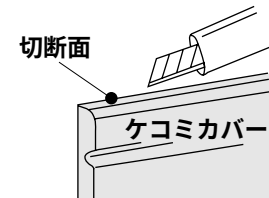
- 1 同梱のケコミカバーを裏面のV溝にそってカッターナイフ等で切断します。
(キッチン高さにより、切断箇所が異なります。)
床面とボデーAのネジ穴の高さ(A)をはかってそれに合わせてケコミカバーの(A)寸法で切断します。



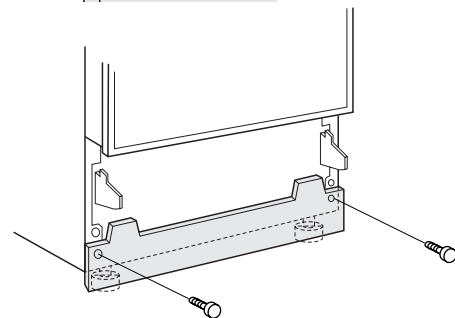
※右図は切断位置の一例を示します。
設置後床面との隙間に応じて切断
してください。



- 2 カッターナイフ等で切断面の端面処理をします。
(切傷防止のため)

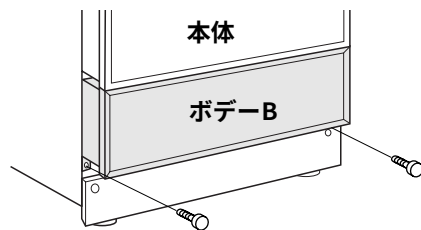
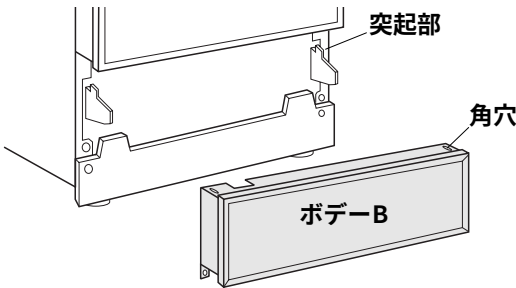


- 3 下側の左右のボデーAを締め付けているビスを外し、このビスでケコミカバーを本体に取り付けます。
※ケコミカバーの穴は長穴で上下に約4mm取り付け位置を調整できます。床面に合わせて調整してください。



2 ボデーBの取り付け

ボデーBの上部の角穴を本体の突起部にはめ込んでから下部を(12ページ「ボデーB」1)で外したボデーB取り付けネジで締め付けます。
(左右2ヵ所)



メモ

Blank lined area for notes.

工事後の点検(チェックリスト)

点 検	点 検 内 容	参照ページ	チェック
機器とその周辺	ドアの開閉	5	
	排気口カバーの調整	15	
給湯(給水・排水接続)	給湯機との接続の場合	8	
	フ ィ ル タ ー	15	
	排 水 ホ ー ス	13 14	
電 気 接 続	電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V 15Aのアースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか。	6 13	
	アース線を接続しましたか。	13	
試 運 転	試運転を行い、正常に動作しましたか。	16	

仕様

給湯・給水接続方式	給・排水管直結タイプ
電 源	交流100V 50/60Hz共用
消 費 電 力	洗浄モーター：50Hz……110W 60Hz……130W ヒーター ……………1100W 最大消費電力：50Hz……1210W 60Hz……1230W
1サイクル標準消費電力量	約1.2kWh
外 形 寸 法	(幅)298mm×(奥行)570mm×(高さ)758～808mm
製 品 質 量	約26kg
水 道 水 圧	0.03～1MPa {0.3～10kgf/cm ² }
洗 淨 方 式	回転ノズル噴射式
すすぎ方式(標準コース)	ためすすぎ(4回)、給排水すすぎ(4回)
乾 燥 方 式	ヒーターとファンによる強制排気乾燥 ●加熱すすぎ後ヒーター加熱乾燥 ●ヒーター加熱乾燥のみ
洗 淨 温 度	洗浄約60℃、加熱すすぎ約70℃
標 準 収 納 容 量	35点

お客様への取り扱い説明

取扱説明書によって製品の取り扱いを説明してください。
保証書に必要な事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

松下電器産業株式会社 ランドリービジネスユニット

〒561-0823 大阪府豊中市神州町1番2号
電話(大阪06)6331-0051(大代表)

© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.(松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.